Library information

No.52
桃山学院大学図書館
2013年4月18日
（http://www.andrew.ac.jp/library/ml.htm）
レファレンス係（内）2507
利用サービス係（内）2501～2503

ご入学おめでとうございます。

図書館を便利に使い倒してください！

在学生の皆さんは新しいスタートおめでとうございます。
桃山学院大学図書館では、4月１１日（木）から新入生向けのオリエンテーションを行っています。
在学生の方やオリエンテーションを欠席またはもう一度受けたい方に、個人参加型オリエンテーションを実施予定です。詳しくは図書館 HP・掲示をご覧ください。

新館長、着任挨拶です。

2013年４月から、館長が新しく着任されました。

考える 図書館 知恵の輪 読む 調べる
図書館は結構、使えます。

選ばれてビックリ，なってビックリ――よろしくお願いいたします。

瀧澤仁唱（たきざわ　ひとひろ）

今年４月から図書館長になった法学部教員の瀧澤です。よろしくお願いいたします。
本学では，学長が教職員選挙で選ばれ，図書館長は連合教授会で教員の選挙で選ばれます。教職員が役職者を選挙する大学は日本では非常に少なくなりました。学長はともかく，図書館長を選挙で選ぶ大学は「絶滅危惧種」でしょう。選挙制度は，大学自治尊重のためでしたが，いつの間にか無くなってきました。立候補したわけでもない私は「瀧澤」の字画が多いので名前など書かれまいと思っていたら当選(>_<)。ドッキリカメラかと思いました。書庫に潜り込むのが大好きで，本の香りがたまらなく好きでも館長がつとまるかはわかりません。

引継を受け，図書館をめぐる状況を知るにつれて大変な役を引き受けたと感じるようになりました。予算削減の大波が図書館に押し寄せていることと本が増えて書庫がどんどん手狭になっているからです。「無い袖は振れない」とはよく言ったもので，予算を少しでも増やせるか，増やせなければどのように有効に使うかを考えなければなりません。予算がない，書庫が手狭になっていくからといって本を買うのを減らしたら図書館の自殺行為です。

最近では，本を読むだけの図書館ではなく，本を中心に友人どおしでおしゃべりしたりしながら本を読んだりするスペースとしての役割をもたせる（ラーニングコモンズ）にはどうしたらよいかという課題もでてきています。ただひたすら静かに本を読む図書館ではその役割が果たせなくなってきています。図書館を皆さんが使いやすいものにするかは，全国的な，もっといえば全世界的な課題になっており，真剣に世界中の図書館で議論され，新しい試みも行われています。

図書館は学生，教職員そして地域の方々のためにあります。大学近くには宮ノ上公園に「いずみの国歴史館」があり，宮本武蔵のえがいた掛け軸がある「久保惣記念美術館」もあります。池上曽根遺跡や信太山の伝承に見られるように古代より歴史のある土地も近辺にあります。図書館は古来より「智」の拠点として人類の宝として大切にされてきました。学習支援を重視し，研究を支援するためには，今までの図書館の伝統を生かしつつ新しい図書館をつくっていく必要があります。そのためにも利用者の皆さんからの貴重なご意見をお聴きしたいと考えています。